

# 秋まで溝が残るよう、適度に田んぼを干しましょう！

田植後は暖かい日が続いたため、稲の生育はとても順調です。

今後も田んぼがしっかり固まるよう、適切な管理を続けてください。

秋まで溝を良い状態で保つためには、田んぼを適度に干し、これまで固めた田んぼが再び柔らかくならないようにすることが大切です。

水を溜めてしまうと、固めた田んぼが柔らかく戻ってしまうので、十分に注意してください。

また、まだ溝切りが終わっていない方は、田んぼの外周だけでも優先して作業を進めるなど、できるだけ早めの対応をお願いします。

## 1 6月18日現在のコシヒカリ生育状況 (拠点ほ場12地点平均、移植日平均5/10)

●草丈「並」、茎数「やや多」、葉数「並」、葉色「やや淡い」

区分	本年値	目標値
草丈	36 cm	37 cm
茎数	441 本/m <sup>2</sup> (27 本/株)	410 本/m <sup>2</sup>
葉数	9.0 枚	8.7 枚
葉色 (SPAD)	37.8	39.0

## 2 コシヒカリの管理ポイント

- (1) 1か月予報 (2026年6月11日発表) によると、今後1カ月の気温は平年より高めで推移し、平年と同様に曇りや雨の日が多くなる見込みです。このため、稲の生育は順調に進むと予想されます。
- (2) 溝切り後は中干しを行います。ほ場や用水の条件によって干す程度は異なりますが「小さなひびが入る」「軽く足跡がつく」程度を目安としてください。土の表面が白くなり足跡がつかない状態は干し過ぎですので、数日おきに水を溜める→数日干す」という管理を繰り返してください。
- (3) 畦畔雑草の一斉草刈推進期間は、1回目が6月20日(土)から29日(月)です。期間内の実施をお願いします。
- (4) ケイ酸が不足している地域や、基肥にケイ酸を施用していない場合は、高温に備えて資材を施用しましょう。

【用水は限りある資源です。地域で話し合い、公平に使用しましょう！】

次回の発行は、6月30日頃を予定しています。